

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 術後手術部回復室への入室による手術室の効率的運用に関する検討

### 研究の目的

当院手術部では、全身麻酔で行う手術患者のほとんどが、手術終了後に速やかに回復室と呼ばれる部屋に移動し麻酔から覚醒し十分な覚醒状態と呼吸や血圧の状態が安定しているのを見極めてそれぞれの病棟へ帰室します（1時間程度）。この期間は、安全性と質の高い周術期管理が可能となりますし、手術の集約化により当院の手術件数は増加傾向にあり手術部の運営に困難をきたす施設が多い中で当院では、手術部内の各術室の効率的運用が為されており、その客観的な事実を示す研究です。

研究実施期間： 実施許可日～ 2026年 3月 31日

対象となる方： 2020年4月1日から2023年10月31日までの間、附属病院手術部で全身麻酔手術を実施し手術を受け回復室に入室した方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

上記の期間で（推定約10,000名）における手術室の入退室・回復室の入退室記録から次の項目を利用します

- ）術後回復室入室から退室までの時間
- ）回復室入室から抜管、麻酔終了までの時間
- ）回復室入室患者が使用した手術室へ次の患者が入室するまでの時間
- ）回復室で患者が一定の条件を満たす覚醒状態になるまでの時間
- ）回復室の在室時間が2時間超または30分以内の理由の解析

以上は時間的要素にかかわる情報がすべてであり手術日時や手術患者病名および個人情報特定されるものではありません。利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報はそれぞれの期間の集合体として扱うのでデータが流出しても個人の特定に至る可能性はございません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院・手術部・北山眞任 電話番号 0172 - 33 - 5111 (7101) masuika@hirosaki-u.ac.jp
-------	---